

本会議から付託された議案7件、請願1件を審査するため、令和4年9月16日に文教福祉委員会を開催しました。

議案第40号 総社市学校給食センター条例の一部改正について

～内容～

市内幼稚園において、学校給食センターを利用した給食を実施するため、関係条文の整備を行おうとするもの。

～結果～

次のような審査の結果、本委員会の所管に属する部分は、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定した。

～質疑～

問：審議会委員として関係幼稚園長及び関係幼稚園の保護者が追加されているが、関係幼稚園の保護者はどのような方を想定しているのか。

答：関係幼稚園の保護者は、PTA協議会の方を想定しているが、今後、PTA協議会の方と相談しながら決めていきたい。

問：幼稚園を利用した預かり保育の際の給食はどうなるのか。

答：小学校、中学校と同じ給食センターを使用するので、休園を除く月曜日から金曜日まで給食を実施し、夏休みなどの期間は給食を実施しないため、弁当を持ってきてもらう予定である。

問：幼稚園の給食実施については、昨年11月議会での一般質問では前向きな答弁ではなかったが、6月議会で急に全園で給食実施することが決定され、政策決定のプロセスが不可解である。昨年11月と比べ当局の考えが180度変わったのはなぜか。

答：PTA協議会からの要望で幼稚園で給食を実施して欲しいという要望が強かった。小学校への接続、幼稚園での食育という意味も含め検討した結果、実施することとなった。幼稚園の魅力化を進め、幼稚園で3歳以上のより多くの子どもを預かることにより、待機児童の解消にもつながると考えている。

議案第41号 総社市放課後児童クラブ施設条例の一部改正について

～内容～

総社小学校区放課後児童クラブ施設の位置及び定員を変更することに伴い、関係条文の整備を行おうとするもの。

～結果～

次のような審査の結果、本委員会の所管に属する部分は、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定した。

～質疑～

問：放課後児童クラブが総社小学校内へ変更となった場合、送迎する保護者の駐車場は確保できるのか。

答：総社小学校の正門を入れてすぐの広い駐車場を利用してもらう予定である。

問：正門出入口の辺りは交通量が多いが、何か対策は考えているのか。

答：現段階では考えていない。

議案第47号 令和4年度総社市一般会計補正予算（第5号）

～内容～

本委員会の所管に属する部分は、令和5年4月から市内16幼稚園で給食を実施するに当たり、給食用コンテナ等を受入れするため、幼稚園施設の修繕に必要な経費の計上が主なものの。

～結果～

次のような審査の結果、本委員会の所管に属する部分は、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定した。

～質疑～

問：幼稚園施設維持管理経費の施設改修について、各園で内容が違うが、どのように改修するのか。

答：総社南幼稚園、常盤幼稚園、山手幼稚園はコンテナ車での搬入を考えており、搬入路確保のため、フェンスの移設、フェンスをアコーディオンタイプへの変更などを考えている。総社幼稚園は、入口が狭いため、門の改修、段差解消を行い、軽バンでの搬入を考えている。その他12園については、コンテナ車だけではなく、軽バンでも搬入を考えており、各幼稚園で必要に応じてフェンスの一部改修、段差解消を行う予定である。

問：保健衛生一般経費の総社市病院施設整備補助事業審査委員会について、会議が開催される際は公開されるのか。また審査委員の人はどのように行われ、報償費5,900円の根拠は何か。

答：個人情報や病院に不利益となるような情報などを除き、できるだけ公開したいと考えている。人選については、市民団体や弁護士会のような組織に推薦してもらうなどの方法で選出したいと考えている。

報償費5,900円は、総社市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の日額報酬を参考に設定しており、市が実施する他の会議に医師が参加した場合も同様の金額でお願いをしている。

議案第48号 令和4年度総社市介護保険特別会計補正予算（第1号）

～内容～

令和3年度の保険給付費等の確定により国庫支出金などが超過交付となったことから返還するための経費の増額が主なもの。

～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定した。

認定第2号 令和3年度総社市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定した。

～質疑～

問：賦課徴税費の国民健康保険税の収納率について、現年分、滞繰分を合わせると毎年度約80%となっているが、どのように考えているのか。また、滞納している者への対策はあ

るのか。

答：口座振替の推進、電話での催告など行い、若干ではあるが、毎年度、収納率が上がっている。滞納している者への対策としては、有効期間の短い保険証を発行するなどし、更新の際に納付相談を行っている。

認定第3号 令和3年度総社市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

～結果～

特に質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定した。

認定第4号 令和3年度総社市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定した。

～質疑～

問：SOSシステム本人登録者数は順調に増えているのか。

答：本人登録者数について、令和3年度は233人となっており、前年度から37人増えている。また、SOSのメールを受信する登録者数について、令和3年度は1,211人となっており、前年度から16人増えている。

請願第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の請願について

～請願内容～

中学校、高等学校の35人学級を早急に実施し、30人学級等さらなる少人数学級について検討すること、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること、少人数学級実施のための加配を削減しないこと、義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げることなど、政府等関係方面へ意見書の提出を求めるもの。

～結果～

「40人学級が35人学級になることは大きな前進であり、これから先、学校現場では特別な支援を必要とする児童、生徒への配慮などが課題として挙げられており、複雑化、多様化もしており、こうしたことを解消するためにも少人数学級の実現、そして加配の増員などによる教職員の改善、定数の改善というものが必要である。」との意見があり、採決の結果、全員一致で**採択**すべきであると決定した。